

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 新幹線対策課	峰松 茂泰
施策名	2 九州新幹線西九州ルートの整備と開業効果の拡大	事業群関係課(室)	新幹線事業対策室、都市政策課	
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額 21,152,191	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画テュンジ&チャレツジ2025 本文)						(取組項目)				
九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)は、交流人口の拡大や産業振興につながる重要な交通基盤であることから、令和4年秋の着実な開業を目指します。また、新鳥栖～武雄温泉間については、西九州地域の発展に大きく寄与するフル規格による整備の早期実現を目指します。 また、九州新幹線西九州ルートの整備に伴い、上下分離方式に移行することとなるJR長崎本線(肥前山口～諫早)は、令和4年秋の西九州ルート開業に合わせ、確実な実施に向けて取り組んでいきます。						i) 西九州ルートの令和4年秋までの開業と全線フル規格化の実現 ii) JR佐世保線の輸送改善に向けた取組 iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進 iv) 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進				
事業群	九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 武雄温泉～長崎間については、対面乗換方式による令和4年秋の開業に向けて、着実に工事が進んでいる。 一方、新鳥栖～武雄温泉間については、令和元年8月に与党PT検討委員会からフル規格による整備が適当であるとの基本方針が示され、令和2年6月から国土交通省と佐賀県との間で整備のあり方についての協議が開始された。令和2年末には、国土交通省と本県やJR九州との協議も開始され、与党PTや同検討委員会における議論も進捗している。 フル規格による整備の早期決定に向けて、県では、関係者との協議に積極的に対応するとともに、政府与党に要望等を実施した。
		目標値①		—	開業	—	—	—	開業(R4年度)	
		実績値②	—						進捗状況	
		達成率②/①							—	

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和2年度事業の成果等
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R元目標	R元実績	達成率	
				R2実績					R2目標	R2実績		
				R3計画	R3目標	R3実績						
事業実施の根拠法令条項			事業対象									
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量のない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)									
所管課(室)名												
取組項目 i	○	1	新幹線・鉄道整備促進事業	27,433	27,433	39,770	全線フル規格の実現に向け、国等への要望活動や情報収集、県内向けの広報・啓発活動を行った。また、県内鉄道網の整備ならびに改善の促進を図った。	【活動指標】 要望活動(回)	数値目標なし	8	—	●事業の成果 ・令和2年6月から国土交通省と佐賀県との間で整備のあり方についての協議が開始され、令和2年末には、国土交通省と本県やJR九州との協議も開始された。また、広報活動等により、令和4年秋の開業やフル規格に対する気運が高まった。
				27,877	27,877	39,120			数値目標なし	9	—	
				34,502	34,502	39,265			数値目標なし			
			H7-	—					【成果指標】 西九州ルートの令和4年秋までの開業	数値目標なし	—	
新幹線対策課	—	○	—	国、市町、鉄道事業者等	【活動指標】	4	6	150%				
取組項目 ii	○	2	JR佐世保線高速化整備事業	54,554	54	3,977	令和4年秋の九州新幹線西九州ルート開業に合わせて、JR佐世保線を高速化するために必要な地上設備の整備を実施する。	【活動指標】 JR九州との協議回数(回)	4	6	150%	●事業の成果 ・レール交換や路盤改良等を実施し、令和4年秋の高速化に向けて整備が進んだ。 ・令和2年度実施工事の施工方法変更により主な軌道工事の進捗率は目標未達成となっているが、他工事の進捗で、全体工程には遅れは生じていない。
				301,762	62	3,912			6	6	100%	
				985,661	61	3,927			6			
			R元-4	—					【成果指標】 主な軌道工事の進捗率(%)	6	6	
新幹線対策課	—	○	—	JR九州		24	22	91%				
						98						

取組項目 iii	○ 3	新幹線整備事業費負担金	15,421,493	76	27,839	九州新幹線西九州ルート建設に係る、鉄道・運輸機構に対する負担金	【活動指標】	数値目標なし	15,421,493	—	●事業の成果 ・令和4年秋の開業に向けて、着実に工事が進んだ。	
			14,209,310	956,800	27,384		【活動指標】	数値目標なし	14,209,310	—		
			17,850,905	153,173	19,632		【活動指標】	数値目標なし				
		H19-			—		【成果指標】	数値目標なし	—	—		
		新幹線事業対策室	—	○	—	鉄道・運輸機構	西九州ルート令和4年秋までの開業	数値目標なし	—	—		
取組項目 iv	○ 4	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	472,360	23,093	11,162	デザイン検討会議を3回開催し、長崎駅舎・駅前広場等のデザイン決定に向けた課題を整理した。また、鉄道事業者とH27に策定されたデザイン基本計画に基づいた駅舎デザインの具現化を図るための協議を実施した。	【活動指標】	10	12	120%	●事業の成果 「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいた様々な課題整理を鉄道事業者と行い、新幹線駅舎工事を実施した。	
			1,757,485	19,956	11,165		【活動指標】	8	12	150%		
			1,193,144	34,467	10,994		【活動指標】	10				
		H19-			—		【成果指標】	1	1	100%		
			都市政策課	—	—	—	鉄道運輸機構、長崎市	長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画テーマの達成項目(個)	1			
	○ 5	長崎駅周辺連続立体交差事業(公共)	11,916,215	59	—	令和2年度は、令和2年3月28日の在来線高架化に伴う鉄道施設の撤去等を行った。	【活動指標】	1	3	300%	●事業の成果 工事説明会の実施により住民の理解を得て、工事を実施した。	
			4,820,158	10	—		【活動指標】	4	4	100%		
			3,772,229	90	—		【活動指標】	4				
		H21-			—		【成果指標】	89	85	95%		
			都市政策課	—	—	○	JR九州	事業進捗率(%)	90	96	106%	
				—	—	—		97				
	○ 6	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	32,739	58	3,986	令和2年度は、令和2年3月28日の在来線高架化に伴う鉄道施設の撤去等を行った。	【活動指標】	1	3	300%	●事業の成果 工事説明会の実施により住民の理解を得て、工事を実施した。	
35,599			100	7,975	【活動指標】		4	4	100%			
99,233			183	3,927	【活動指標】		4					
H22-			—		【成果指標】	89	85	95%				
		都市政策課	—	—	—	JR九州	事業進捗率(%)	90	96	106%		
			—	—	—		97					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	西九州ルート令和4年秋までの開業と全線フル規格化の実現	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>新鳥栖～武雄温泉間の整備のあり方については、国土交通省と佐賀県との幅広い協議に加え、国土交通省と本県やJR九州との協議も開始されており、今後は、諸課題について、精力的な協議の積み重ねにより、議論が進展していくことが必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>与党での議論や国土交通省と関係者の協議、長崎県が参加する協議の場など、様々な枠組みを活かして、佐賀県の課題認識を踏まえながら、議論が前進するよう積極的に対応し、全線フル規格による整備の実現に向けて力を注いでいく。</p>
ii	JR佐世保線の輸送改善に向けた取組	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和4年秋の九州新幹線西九州ルート開業に合わせて、JR佐世保線の高速化が実現するよう、地上設備の整備を実施していくことが必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>JR九州や佐世保市と連携し、進捗状況を確認しながら、着実な工事の実施を図る。</p>

iii 西九州ルート of 早期完成・開業を目指した整備促進 ●実績の検証及び解決すべき課題 西九州新幹線(長崎・武雄温泉間)の令和4年度秋頃の開業に向けては、これまで順調に工事が進められていることから、引き続き、予定どおりの開業を目指して、鉄道・運輸機構等の工事の進捗状況を注視するとともに、課題等の解決にも沿線自治体と注力していく必要がある。	●課題解決に向けた方向性 武雄温泉～長崎間の早期完成・開業ができるように鉄道・運輸機構や地元市町等と連携して、工事の進捗を図っていく。
iv 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進 ●実績の検証及び解決すべき課題 ・長崎駅舎、駅前広場のデザインに関して、「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいた様々な課題整理を鉄道事業者等と行い、新幹線駅舎工事を実施した。 ・長崎駅周辺連続立体交差事業に関して、令和2年3月28日の在来線高架化に伴う鉄道施設の撤去等を行った。	●課題解決に向けた方向性 ・長崎駅舎・駅前広場のデザイン、長崎駅周辺連続立体交差事業に関して、引き続き鉄道事業者等と連携し、事業の進捗を図る。

4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 iv	○	4	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	—	—	引き続き、長崎市と連携し、駅前広場に係る事業を推進。	現状維持
			H19-				
			都市政策課				
	○	6	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	—	—	引き続き、鉄道事業者と連携し、側道の整備を推進。	現状維持
H22-							
都市政策課							

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点